

報道関係者各位

**サイバーセキュリティクラウド、  
『Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF』の機能をアップデート  
～HTTP ヘッダの全ヘッダ項目を検査するシグネチャを追加～**

株式会社サイバーセキュリティクラウド(本社:東京都品川区、代表取締役社長 兼 CEO:小池敏弘、以下「当社」)は、当社が提供するサービス『Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF(以下「マネージドルール」)』の機能をアップデートしたことをお知らせいたします。

■ 対象製品

- ・Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF -HighSecurity OWASP Set-
- ・Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF -API Gateway/Serverless-

■ 背景

これまでマネージドルールでは HTTP ヘッダに関して、特定のヘッダ項目名を指定してシグネチャを作成して対応しておりました。

しかし、2021年12月に報告された Apache Log4j の脆弱性(CVE-2021-44228)の様に「Log4j を利用して HTTP リクエストの内容をログに記録していると脆弱」となる例もあり、網羅的な対応のためには HTTP ヘッダの全ヘッダ項目を指定し、シグネチャを作成する必要がありました。

一方、HTTP ヘッダには標準的なヘッダ項目名だけではなく、カスタマイズされたヘッダ項目名もあることから、当時の AWS WAF の仕様では全てのパターンに対応するには限界がありました。

■ リリース詳細

2022年4月、AWS WAF で複数のアップデートがかかり、Web リクエストの Cookie と全てのヘッダも検査が可能となりました。

当社は HTTP ヘッダの全ヘッダ項目を検査するシグネチャを追加し、より検知精度の高い対応が可能となりました。

■ Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF とは？

『Cyber Security Cloud Managed Rules for AWS WAF』は当社が独自に作成する厳選された AWS WAF 用のルールセットです。

マネージドルールは OWASP Top 10 Web アプリケーションの脅威リストに含まれる脆弱性を軽減させる包括的なルールセットで、Web アプリケーションや APIなどを簡易的にサイバー攻撃の脅威から保護することができます。さらに世界有数のサイバー脅威インテリジェンス情報を持つサイバーセキュリティクラウドのサイバー脅威情報監視チーム“Cyhorus(サイホルス)”が最新の脅威にもいち早く対応し、セキュアな環境を素早く構築することが可能です。



また、マネージドルールはグローバルなオンラインプラットフォーム、AWS Marketplace 経由のみで販売が完結するため、日本国内から世界中のユーザに届けることが可能です。なお、2022年3月末時点では累計70以上の国と地域に展開しており、グローバル全体でのユーザ数は2,588以上となっております。

**【株式会社サイバーセキュリティクラウドについて】**

会社名:株式会社サイバーセキュリティクラウド

所在地:〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-1-1 JR 東急目黒ビル 13 階

代表者:代表取締役社長 兼 CEO 小池敏弘

設立 :2010年8月

URL :<https://www.cscloud.co.jp/>